

地域水産物の販売・加工活動による地域活性化

北薩地域振興局 林務水産課

【背景・目的】

北さつま漁協出水支所は、組合員数135名で、八代海南部海域を漁場に、タイ類、イカ類等を対象にした吾智網漁業、アジ等を対象にした一本釣漁業、クルマエビ等の刺網漁業、機船船曳網漁業等が営まれているほか、冬季は、鹿児島県で唯一、ノリ養殖業や打瀬網漁業が営まれている。

しかしながら、当地域においても近年の経営環境は、資源の減少傾向、高齢化、魚価低迷、燃油高騰など、厳しい状況にある。

このため、漁村女性起業化グループを育成しながら、支援事業を活用し、沿岸で漁獲される水産物の販売や加工販売に取り組むことにより、地域水産物の付加価値向上を図り、地域漁業の経営安定と活性化を図る。

【普及の内容・特徴】

- 1 平成20年度に設立した漁村女性起業化グループ（名称：JF北さつま出水女性グループいといより）を、平成20～22年度にかけて漁村女性起業化グループ取組支援事業（全漁連・水産庁）の活用により、定期的な販促活動の地域における定着化や、購入した加工機器類等を利用することで育成を図ってきた。
- 2 平成23年度からは北さつま漁協出水支所が実施する食育支援活動にも参画している。
- 3 平成24年度は、直販所を拠点とした食育の推進業務（県農政課）を活用し、小学生や一般市民を対象に、地元で水揚げされるタコのつかみどり大会やアジのさばき方教室、グループが製造した干物・すり身の調理教室を開催した。また、地元水産物を用いた加工品とかごしま版食事バランスガイドの紹介するリーフレットやポスターを製作し、配布・掲示した。

【成果・活用】

- 1 月1回のおさかな市（名護・新鮮おさかな市）が地域に定着することにより、漁業者や漁村女性が直接販売する機会が生まれ、それに伴って漁獲物の価格向上も見られた。
- 2 おさかな市では、漁村女性起業化グループの直営1店舗の他、農産物関係店舗等の販売ブースが開設され、異業種との交流が深まるとともに、地区内外から多くの人が訪れ、漁村地区が活性化した。
- 3 地元小学校で食育支援活動を行い、魚食普及を図った。
- 4 おさかな市での小学生や一般市民を対象にしたイベントの開催や、リーフレットやポスターを配布・掲示し、地産地消や食育への理解を深めてもらうとともに、地域の重要な産業である水産業をPRできた。

【その他】

次年度の計画としては、地域に定着化した定期的な販促活動（おさかな市）をイベントを開催しながら継続し、地産地消・食育と水産業をPRする。また、地元小学校に対し食育支援活動を行うことで、魚食普及を図ると共に、家族連れでおさかな市に来てもらうことで集客を増やし地域の活性化も図る。

新商品や商品のパッケージの開発を行い、漁獲物の付加価値向上を目指す。

1 グループの設立

設立年月日	平成20年9月5日
会員数	11名(10個人, 1法人(漁協))
グループ名	JF北さつま出水女性グループいといより

2 おさかな市実績(平成24年度)

開催回数	11回
店舗数	延べ64店舗
来場者数	延べ2,164人
グループ売上高	1,126千円

3 食育支援活動

実施日	学校名	対象者(人数)	実施内容
平成24年9月5日	米ノ津東小学校	5年生(74人)	アジのさばき方の実習
平成24年9月10日	下水流小学校	5年生(45人)	アジのさばき方の実習



おさかな市販売風景



タコつかみどり大会



水産加工品の調理教室



食育支援活動(下水流小)